新板
繪入

天神不動梯

二之巻

へ 13
1631
9

特
13
1631
3

雷神不動樹

月縁

三之巻

第一

縁でまどる夫人月代ぬ硬石
色ゝ古鶴ゝを色い生所育
蓮れ上ゝ人びすくい三百姿
時元ゝ堀出ゝ者賞れえる

第二

為嗅ひ孔をれ魂をれ魂をれ老人
地蔵ハ為ル孔し〜立寄やれ驚和
寺ハれ俗ハ月の内ハ中沢中
結ハ〜佐〜く分ける志〜り縄

第三

親子縁ハ切よきれぬ親付の俗縁
ち縁の情愛ハ切ル間縁
懇悔の縁よ為ル程百姓の為立
親ハ波ハ光を弱と武士の系譜

一 縁でけれる夫ハ斉ひよち月れぬぬ欲ん
豆と黄て豆れ豆が〜を焼月根ホし〜ては性ハ培すの疾速をすと
七歳の中にと歌せり。三右ハ〜ハ大ハれ万れハ父の万系ハ生れ時。
きれ方よりを〜ひ〜表ひよて。三右ハ〜ハ〜〜ハ〜〇恨ち〜れ兄弟ある右
三ハ実の妹よハあ〜ざれハ不使も加ハ〜ハ。えよりは生ま行無言ある。又
万歳にもあ〜けるく〜あるる。ちる多れ城も武ハ三ハとかぎつてをくを
いせと。指仏書れ焼ハも仏ハ入とてそ〜ぐ〜ハ〜ハ〜ハ〜
ち腹ハあるといひ三鈍吹歯ハ〜ハ〜ハ〜ハ〜ハ〜ハ〜ハ〜ハ〜ハ〜
きれハ〜れ〜〜〜喰ハを〜ず〜ハ〜ハ〜ハ〜ハ〜ハ〜ハ〜ハ〜ハ〜
杖ハて扣き三ハ〜ハ〜ハ〜ハ〜ハ〜ハ〜ハ〜ハ〜ハ〜ハ〜ハ〜
ハに佐〜ハ〜ハ〜ハ〜ハ〜ハ〜ハ〜ハ〜ハ〜ハ〜ハ〜ハ〜

されどかれの蕣帰するやうなる人臘とりて雑仕の者とりてむすめにくしなるべ
あれすべやさしかくをそんなるうるのうるとバ父母とゆるさずいとくるし
悔ゆ故迷のうるまひおそにて月日とをるうるそ乃先をみくうるすや。
名残日〳〵にいたりうる故おてまを却れ小あきうひ山桜月の幸見世屋う
をとそ歌よまれく懐まるをて博奕に抑うかれえとをもをうるを四方が
祇を紙衣。主ようをえ居き往とうをうを四妹ぐうくれえいえ歌
うを(今云なれ耳にさかくて懐とうい〳〵ざる女れ分の伝えだて廊へ奏て
今みて博奕のえはをるぐよひと安う別れとをとよ分別と分。さ人の
跡とナ三ひ切て八重に書るをうを暗八るを〳〵を見祝の下かに有れを
せどをそれうかるれをそんをとうみよ〳〵こ。是用者うを上廊のあるよ
てあ〳〵ひ孫きへ町あるすてのひ今をとハ拾ひのいつれるにうを大系れを上示して
青さうを大何をを見て紀彩を拾いをて素祝の次。さ廊れ四るを〳〵び

うを素晴をて。書庫を書へ不ふ書れ書へ人の名をとをうるにを陰
ざかれ人〳〵るを上て方をを仕をを名をを改ををうをを夫祇
のうをれをかりしをを井の赤鳥を今義をを別てを里にをへをてを
ふをを井を井をを戸をををれをうを。赤鳥を男をを好をを男。
ん稚子をををををを。
ををををををををををを初の赤実をををを義
をを宝を使を花をを後のをを〳〵をを今八根り牛の稚後を加のを井を家れ
をんををいひかけ。赤鳥を赤鳥を今義を祝をををを八角を牛を見れ百をれをををををを。をををに
稚ををを。をを赤鳥を赤鳥を今義を祝をを。をを。をを。をを。
てををををを。をを。をを。をを。をを。
今を祝今義を祝をを祝を。をを。をを。をを。をを。
義。をを。をを。をを。をを。をを。

文義
文義の家来
文義の家来
文義の家来

[illegible]ぬまでうつくしやうきいてゐて人をとりこにされてさすがつる
ぎのたんをもゝ妹の一ぎにもとゝ[illegible]ゐくまゝ[illegible]しぶ[illegible]ゐてはとかく[illegible]
だてとて[illegible]次さんいやとねるをばゆるさぬ[illegible]
[illegible]ぬぎやとは[illegible]ゐたる[illegible]ぬ[illegible]
のぞきたる風ぐ[illegible]ゐて今とぼとくれはゆるまひうとい[illegible]
のあてかきよとるまにゆとわかるとこばをれよはゆるかの[illegible]
ぐ妹の[illegible]ぐ[illegible]れたる風いとく巣もぐのびるとて[illegible]
[illegible]やよ[illegible]まとりて人ぐかのこゝ[illegible]
[illegible]てまぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]
今ぐ[illegible]ぬとてんとかく[illegible]
[illegible]ばとりてんはは[illegible]とゝ[illegible]
て今[illegible]

[illegible]はは[illegible]ぐ[illegible]
[illegible]ぬ[illegible]
[illegible]ぬ[illegible]
[illegible]ぬ

きと一ぢ今の名ゞ[illegible]ても今はなのまゝ[illegible]
[illegible]ばかりまゝ[illegible]
れを[illegible]
[illegible]
[illegible]

ひ世の教まを求ゐが笑いをけてこのぬりぐまをがくてしは世の今の威光
よい及ばぬ位も稼ぎに光りと中板まれぬ位も今決ぬ。ぬ人のこ紙ぐ仕さへ。
又世を初て風流せ〜くハ皆今のりさでへごめめてに身をまれいひま
ハとわ〜ハ月ハ出ぬ戸を抜きぬ〜れをたいのめくいひつぬ安ぬ方ひぬ〜
でぬぐ四れをとハ行のとぬ戸にいてるるに年ハ七十ハまれをへ十ぬ年の花と
そもるひ。表ハ方て御仰〜ぬ安ぬとるへ小晩とかぬぬとすてやるハぬくハ
れれをるるぬらとへと思ぬるて海めとやぬをまるるるすぬぬあられ
て大表ぬんぬぬはるてるくくいけ年ぬれ〜さんぬくるぬてひ四へ
行れよもくれひをへれかぬぬ晩とれぬめぬへぬ人ぬまれバ安ぬるか海
いさりとハをひるぬ〜ぬ百のぬへをはるるひてぬまるるかのをぬるをへの和花
とい〜ハ方の表をさ〜貯ぬ〜ぬれハ笑ひるるるるぬ伺と鶴ひを〜ぬ七〜ぬ月く
ぬをすれバ鶴ひをと表と貯ぬ〜ぬて年〜ぬぬ。ハテ寄る様に〜ハけハれ〜を

なをとろでハるひぬれまれて新茶と新
鶴ひを新方ぬも新やりぬきて先を部へれと四へをくせいくりよ。
お鶴ハ〜ぬ〜ぬ相ぬ〜い計への月ぬ図ハをろくとをすは同ぬ角をて南ろ
事へをて表ぬをてよび入ると鶴ぬ月ぬ図ハをろくとをすは同ぬ角をて南ろ

二

ろ嗅ひ池を月魂をハをろ〜餐のをへ
新ぬ條で去を鶴湯ぬ條で井と切ろ。ぬるを表ろ〜ろへで鬼をかろをを笑ろ
ろりとろやぬ海ぬ安四ますをかのをへ。ぬ七ぬ安牛を作ひて四ぬ安ぬ対ぬを表てやけ
ろハ餐新の和ぬ月ぬろをに様ぬ実とをハ表の表ぬろるぬ海ぬるてをの町へをろをを。
元ろる女中ぬ安合〜ぬへをごをへるる上平へ人の表をハ人へ和ぬに伝ををつ鶴ぬ
峠を人ぬを行てをぬ海ぬ迷ぬをのかろ表新をろをてをれををの四新を
いをるるれぬを伺ぬを表ぬをへろをぬを表ぬ迷ぬの表ぬて新ぬろきぬ。あ
まろいをを〜〜ぬ新の四へハれををを表ぬををををけてを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

うばてゝ[illegible]れとゝ[illegible]さまのけばこゝ[illegible]
てゝ[illegible]とゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
せゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

きぶつ。あるよそこよりさぶらひ。おいそれぶ女房。まづ紙いそぎかうと
そが。鏡の箱八。指とこうきよかいこみ。あれ方すげりれ。のせくゆごと矣
ひてうろいく。ちこうこ京のんく。ぷつきあるうくぶ人。すろ。春よう巳
うろ。それあれ侍。ごうへ。て板るよ大と。ゆ牙て。ぷう立。しま垣とか。祝ぷ。ぱつと
入て。指ちと人てびつ人巳。拙そく。ぷうあうてとてと半とおとうかつて。指と
りぎこう。塗八と。弛れかせべぷ。ぷ。れ。逐出あ。こうてよ八ろのとせ人。いぶ。
今。ぶの。月みき人とぶてあ中。ゆ人。ぷう。件の。ちあ。ぷ。ぷ。のぶ。よ八。胸。ぶぎ
と。京バ。ぷ人。ぶぶ。て。れ。ぷと。ぷ。で。矣人と。ぎんと。侍巳。と。も人。春。ケコレく
ち侍。そ。ん。よ八。白。ぶ。ぎ。す。ろ。中。ん。ぷ。ま。ぶ。る。人。ぶ人。る。れ。指。ぶ。と。ぶ。ぶ。巳。侍。ま
はてぶ。そ。れ。と。い。ぶ。ま。あ。ぶ。い。こ。巳。て。い。ぶ。ま。ま。あ。ぶ。ら。く。巳。ぶ。う。ぷ。コレ。文。義。巳。へ
ぶ。ま。指。ぶ。ひ。の。ぶ。ぶ。ま。い。ぶ。と。ぶ。の。巳。ぶ。の。巳。ぶ。の。巳。ぶ。で。た。ま。ぶ。う。ぶ。ま。ぶ。ま。ぶ。ぶ。像。ぶ
ぶ。て。ぶ。ま。と。ぶ。の。ぶ。ま。ぶ。ま。ぶ。ま

はるとみえて主人のかたをあるのぬ給ひ初かけ〳〵とばかりまぶれの世界ぶ風。
かゝるまよ出給ハ偏ニ天地わゝとて長久斜なるまどぶきを人ハ行のまいろ行ふ人をたまま
難ぶ作ニ光をハ其れ出でぶ細いろふとして居ぶきまとべ出ハ光波文義とア考ち
ハてハ神の恵ともなりぶ。三代年封建の義ぶ村景を暗こりくいそいそう
社風偏ニ仕て主延ーぶパ神の恵ぶ社威によつて命とめうぶ社仕ぶとハ
なまひうて神ぶ実ニうこ天地とを物ぶ沒ぶひとを而世ぶの社義ぶたれ
命をとられぶ月とまるみ村ぶもパ小神のたるぶて世間ぶをたれどぶ。ものに有
ハ主すとあゝぶ〳〵ぶ光るれぶまぶ流れなぶと思ひ落ぶ巳の出和徳。
時とうぶを傳ぶパ出ぶて光るとゆぶとちゝぶてハ主ぶを為のびぶ出成
社ぶで一帝ーぶ教ぶるゝ毎ぶ方ハ行きたるゝの為と社人で姫ぶ社義と
うぶ時言ぶて行ぶて社の中ぶ者ーぶ主ぶまんとぶてうひすぶてのまゝゝが
人の為ぶと知ゝぶとゆぶて有ぶ人ぶとゆうぶ神ぶ社ぶ逢ぶ

又為ぶ為ぶとあるゝぶとうひぶ。ぶ為ぶ社ぶ仏ぶと世ぶて今ぶを為ぶ社ぶてゝうぶ
来ぶの為ぶ人ぶ為ぶ社ぶ社ぶて社ぶ為ぶ社ぶパぶゝうぶ社ぶて社ぶ為ぶ社ぶて社ぶ為ぶ
方職梅の涙ハ実ぶまぶ出ぶうぶ人ハ為ぶ人ハ世為ぶ為ぶ為ぶ社ぶうぶ社ぶパぶ社
為ぶと為ぶて社ぶ。ぶ為ぶ為ぶうぶ為ぶ為ぶ為ぶ為ぶ為ぶ為ぶ為ぶ為ぶ為ぶ為ぶ為ぶ為ぶ
ハ為ぶ為ぶ為ぶ為ぶ為ぶ為ぶ為ぶ為ぶ為ぶ為ぶ為ぶ為ぶ

ゆきかをもしたがひ、ものいふまでもなく、ものごとにのぞみ、時分をはかりて、ものをいはずして、ものをいはせ、ものをいはずして、ものをいはせ、ものをいはずして、ものをいはせ

すんのおどりをいはせ彈をあ[illegible]ていわ〳〵女房をやるのあぶなと後ろをみる
振まわれいわれに手を右に敷付のねばねば素足に張て湯くさ対せハ女あるのが助
ゆるハ久ぶねで時ゆ浴有に沈と坊んあ義母人主人合時有せ。素足にてうんあ
まるとるのゞ背中に座るゝげて脇とくゞりてゞゆるぬ。さんれ[illegible]ようう
まんとあげて。ヤぞんゆ母ちと後とゆめてあられ中あまとあひられハいひ
なすとハ伊事さ伊のよいて仕とへしまとしゝろてきれて来たて。文義ゞそゞれあと
とていて床とゝうあ。そ事ゞれ文義れ。私ハおまえ此ある又ゞてけざりまみす
おまへとまゞ事れ親たまゝゞとゆつたいるいりを有て世天の業あえれ罪。
主ちま私あて彈ゆ義に切れ〳〵彈ゆ義母のもとゝゝまゞ主ゝ義と様とゝ乃和。
れ和様とけてゆとんのゝあさいう中とゝとゝとゝゞとゞて主ま有ゝ様ゞ食れ
のりさ素岩あゝまえ人のゝそゞし。知ゝ[illegible]ゝ町ゞれまれ利ゞと食ます
ゞとゝとんゆひ森ゆ中の業とまゞひ様ゞ行んゞ行ゞ義ん様様ゞかひゞ義れた。

今ゝゝんとゝゆゝゝゝゝれゝゝゝゝ

ぶん五
俺くの
うすを
やるぞけり
文蔵
こりゃ
文蔵人
くくりやせよ

ゆとばしがるまゝ男はそこらとれいきられすとあ歌付とたとでれざんと祝
ぎりぬ分の深まりさるの屋はおやごとまつごろくと貢せぼはみ男はとしたつごと。
歌に年てく後悪者とそれぼしはへつてひゞき男はおやもはど本嫁の子の男姉に
に年てるゞ年人の様さんが嫁入とゞ屋さでは帰さりげの帰とは帰るとり今年
式歌とおとて親の家はまるとゞが男れゞ夫切れざんとばくへは
るの屋の独面とはゆうなり。点よりよ嫁とりてこ年ぎれとおる祝おろう
ゆと様祝の歌ゞたにとつきはこゞ今ちゞん年。お嫁ゞ自へ感。
人義おやこのちとゞしめとはゞずまちてゞみてろぬ。義ゞくゞく長
はおの年祝の人ゞ年ゞとゞはまとうおとうみうて嫁男れちゞをとれゞ。
人様よとゞはとゞ屋とゞ歌とおとうて嫁男れやてゞとゞくゞはゞに対ゞ
年とおゞはとゞくゞる嫁せれ人その長さとはゞ年今ゞ年ゞ動面
して歌とれゞ様ゞ嫁男れ嫁もはゞ考て歌付の嫁屋へ人とゞくゞと。

ゞとゞはゞ多くおまゞとゞのゞおれとゞゞぬんゞゞ付おとゞゞ男れとゞゞ
てとゞりゞゞゞおゞれとゞゞてとゞゞ文義れ導ゞれとゞれゞ義ゞはゞゞゞ
ぬゞゞの屋の中和ゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞ
ゞゞゞとゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞ
ゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞ
ゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞ
ゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞ
ゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞ
ゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞ
ゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞ
ゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞ
ゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞ
ゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞ
ゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞ
ゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞ
ゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞゞ

あたしまたさいと悔ひ事もあるとて花角し陽ハ生ものを医して料理のまと
いふ所よ養生新説よの中ハとりまぜ方ものを食ハ多くハ内ものを薄味とえて
ひろ〻ものを食ハ味ハ生ものを食べられハ薄味ものを食べられハ味ハ
生ものを食べられハ味ハ生ものを食べられハ味ハ生

[illegible]

[illegible]

[illegible]